

能「葵上」角当行雄
(撮影:吉越 研)

第一部
12時30分開場
13時00分開演

狂言
萩大名
【はぎだいみょう】

三宅 右近(和泉流)

能
葵上
【あおいのうえあずさのて】

梓之出

角当 行雄(観世流梅若会)

第118回 川崎市定期能 能と狂言

2019年12月14日(土) 会場:川崎能楽堂
入場料:各部 4,000円(全席指定)
U25 3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。



能「通小町」
(撮影:三上文規)

第二部
15時00分開場
15時30分開演

狂言
鐘の音
【かねのね】

三宅 近成(和泉流)

能
通小町
【かよいこまち】

梅若 実(観世流梅若会)



【チケット発売日】

2019年11月8日(金) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順) *残券があれば、同日正午より電話・ホームページでも販売いたします。

【チケット取扱・お問合わせ】

川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37 窓口・電話 9:00~17:00(水曜定休日)

*但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。

川崎市文化財団ホームページ <https://www.kbz.or.jp/event/noh/20191214/>

*ホームページより申し込みの場合、予約確定は申し込んだ日の翌日となります。



主催:(公財)川崎市文化財団 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5F TEL.044-272-7366/FAX.044-544-9647

*開演後にはご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

定期能をより楽しむための事前講座

演目や能について能楽師が
実演つきでわかりやすく解説します。
英語による解説も対応可。

◆日時:2019年12月6日(金)14:00~15:30
◆会場:川崎能楽堂

角当 直隆(観世流梅若会・シテ方)
伶以野陽子(観世流梅若会・シテ方)

◆定員:148名(先着順)
◆料金:無料

*第118回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。 *受講をご希望の方にはチケットご購入の際に整理券をお渡しいたします。

萩大名

ツレ 照日の巫女 山中 近晶
シテ 六条御息所の生霊 角当 行雄

能 葵
上 福王 和幸 大鼓 大倉慶乃助 太鼓 小寺真佐人
梓之出 村瀬 提 小鼓 田邊 恭資 笛 竹市 学
アイ下人 三宅 右矩

後見 遠藤 喜久 山崎 友正 伊藤 嘉章
山崎 正道 地謡 内藤 幸雄 下平 克宏
鷹尾 章弘 小田切康陽

狂言 萩大名【はぎだいみょう】

在京している遠国の大名(シテ)が、萩の花が美しいと評判の庭を見に行くこととなります。しかしその庭の亭主は大の歌好き。庭を見た客は萩について歌を詠むのが慣例となつていて、太郎冠者(アド)は「七重八重九重とこそ思ひしに十重咲き出づる萩の花かな」という歌を教えます。そんな面倒なものはとても覚えられないという大名に、冠者は物に例えて覚えてもらうかと勧め、二人は連れ立って出かけます。しかし大名は庭を誉めそこなつた上、茶屋の主人(小アド)に歌を所望されると、太郎冠者に助けてもらいながらも、満足に歌を詠むことが出来ません。さすがに呆れた太郎冠者は先に帰ってしまい、そうとは知らない大名は苦し紛れに末句を答えますが…。

能 葵上【あおいのうえあずさのて】

梓之出

左大臣の娘、光源氏の北の方(正妻)である葵上が物の怪に取り憑かれて病に臥せています。医者にかかっても加持祈禱をしても一向に良くならないので、朱雀院に仕える廷臣が、梓弓によって亡霊を呼び寄せる呪術を持つ照日の巫女(ツレ)に命じて物の怪の正体を占わせます。すると、なんと源氏の愛人であった六条御息所の生霊(シテ)が現れ、愛を失った悲しみと恨みを葵上の枕元に責めさいなみ、幽界へ連れ去ろうとします。急ぎ、横川小聖(ワキ)という行者を呼び寄せて祈禱を始めると、六条御息所が鬼女の姿となつて現れ、行者を追い返そうと激しく争います。しかし、やがて六条御息所の怨霊は祈り伏せられ、ふと我に返つて浅ましい自分の姿を恥じ、心を和らげて成仏していきます。

狂言 鐘の音

前ツレ 小野小町の女 角当 直隆
シテ 深草少将の霊 梅若 実

能 通小町
福王 和幸 大鼓 大倉慶乃助
ワキ僧 山中 近晶 小鼓 田邊 恭資
後見 小田切康陽 地謡 内藤 幸雄 伊藤 嘉章
鷹尾 章弘 山崎 正道 山本 博道

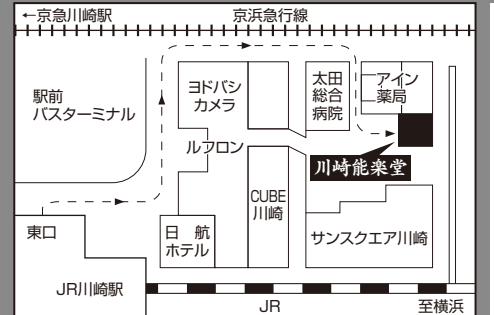
狂言 鐘の音【かねのね】

主人に鎌倉へ行って金の値を聞いて来いと言いつけられた太郎冠者(シテ)は、鐘の音と間違え、寺々で鐘の音を聞き比べて帰ってきます。冠者が主人に各寺の鐘の特徴を得々と報告すると、主人は怒り出し、冠者を追い出してしまいます。冠者は主人の機嫌を直そうと、寺々で鐘の音を聞いたことを謡に作つて舞い、ご機嫌を直そうとしますが…。

能 通小町【かよいこまち】

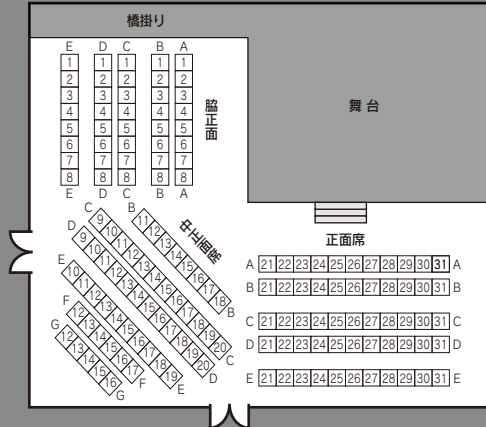
洛北八瀬の里に住む僧(ワキ)のもとへ、毎日本の実や薪を持ってくる女(前ツレ)があります。僧に素性を問われると、女は小野小町の歌を口ずさみ、市原野に住む者であると言いついて消えてしまいます。その言葉つきから小野小町の亡霊ではないかと察した僧は市原野に赴き、小町の亡き跡を尋ねます。すると薄の中から小町の亡霊(後ツレ)が現れ、僧に授戒を請います。続いて深草少将の怨霊(シテ)が現れ、私を残していくのかと恨み、小町の成仏を妨げます。僧は、共に戒を受けよと言ひ、深草少将の怨霊に対して、懺悔の為に百夜通いの様を見せるように説きます。少将は請われるままに、雨の夜も雪の夜も小町を慕って通いながら、十九日夜目、恋の成就する絶頂で死した昔語りを狂おしく再現して見せ、二人は成仏します。

川崎能楽堂案内図



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂座席表(148席)



※U25券は脇正面席・中正面席のみ選択可。

次回公演のお知らせ
2020年1月11日(土)14:00開演
野村万蔵による芸能サロン
～狂言を楽しもう～
会場:川崎能楽堂
お話し 野村万蔵 狂言「鎌腹」小笠原匡
狂言「宝の髄」野村万蔵
チケット発売:11月29日(金)より川崎能楽堂
窓口にて発売予定(先着順)
2020年3月14日(土)
第119回川崎市定期能～観世流～
第1部 狂言未定
能「弱法師」観世恭秀
第2部 狂言未定
能「二人静」田邊哲久
チケット発売:2020年2月7日(金)より
川崎能楽堂窓口にて発売予定
(先着順)